



市長とランチミーティング 72

第72回「市長とランチミーティング」は1月17日(水)に「石垣管工事事業協同組合」の皆さんと行われました。「公共工事平準化への課題、管工事業を取り巻く環境」

市長 みなさんこんにちは。今年最初のランチミーティングということで管工事組合の皆さんにお申込み頂いてありがとうございます。今日は現場の声を聞かせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

理事長 あけましておめでとうございます。年始めの多忙な時期に私達管工事組合との意見交換の場を設けていただきありがとうございます。数多い理事の中からメンバーを厳選してきましたので、よろしくお願ひします。

理事長 行政には様々な機会を通して要請しているところですが、業界としてどう動けばいいのか、たとえば建築関係がいろいろと問題になっています。市の仕事に関しては私たちにさせて下さいというぐらいの熱い気持ちを持っている皆さんがいます。



契約管財課長 昨年、管工事組合からいただきました要請についてはその内容も踏まえて庁内で、市長・副市長も交えて検討を行なっているところです。建築も管工事も電気も全て、基本的には地元で受注をしていたいただきたいという方針で変わりはございません。出来るだけ多くの地元業者に発注できるように検討中でございます。

副市長 基本的には公共工事の受注先は地元を優先しています。新庁舎につきましても企業の育成・人材育成の観点からは非地元で受注していただきたいです。

理事長 働き方改革ってありますよね。去年、労働基準監督署から超過勤務が凄く多いので注意をうけました。石垣は人手不足が深刻なんです。

理事 新八重山病院の工期も半年以上延びています。新川団地もそう。建築の場合は宿泊費等も経費が出ているんですよ。しかし設備の場合はそういうのが無いから人手不足になっている。色々な現場でそういう話を聞くんで、設備の工期が遅れているのは人手不足というのが原因にある。その辺を考えてもらいたいです。

副市長 平準化ですよね。観光事業でもなんでもピーク時があ

り、その時期に集中してサービスとか人手が必要となる、それでは大変な負担、経費がかかりますよね。建設業界からも平準化について要請が出ていました。昔からある課題であり、今の課題でもありません。

理事 それについても、建設と設備の入札時期はずらして欲しいですね。

理事長 今27業者あるんですけど、ほとんどが公共工事を受注しています。

副市長 石垣市としては、様々な工事を通して、企業育成、技術力の育成、従業員の育成もして欲しいと考えています。また、今まで、特殊な工事は専門業者にお願ひして地元の業者は手が出せない。これからはそういった工事にも手を出して欲しいと考えています。